



宮城県泉松陵高等学校 進路通信

20→21 Dream Fighter

第 11 号 2021 年 2 月 15 日発行 文責：村山

前回は偉人しりとりは「エウ
グストス」が登場。今回の偉
人しりとりは「す」からスタ
ート！2年生S君が教えてく
れました！

◆大学入学共通テストを改めて振り返る！ ～センター試験から何が変わったのか～

1 月に実施された大学入学共通テストを分析しているサイトがありました。そこに書かれていた内容と今後の対策等を国語、英語、数学を中心に紹介します。

【全体】センター試験と比較し、問題文の量が増えたことに加え、各教科とも読み解くべき分量の負担が増加。「読解力重視」が鮮明になりました。特に国語と英語では問題文の量が増加。他教科でも資料などから問題を読み解く力が求められる問題が目立ちました。読解力重視の傾向は国際的な学習到達度調査 PISA で日本の読解力の順位が低下したことが背景にあるようです。

【国語】すべての大問で、問題文とは別の文章・資料を参照して解答する問題、ないしは問題文で与えられている複数の文章を総合的に考える問題が出題。より複雑な形式になりました。今後の対策としては「読むこと」と「書くこと」の一体となった学習が大事となるようです。

【英語】最も傾向の変化が大きかった科目。センター試験にあった発音・アクセント・語句整序といった知識を問う問題がなくなり、読解問題だけに変わりました。読解力重視というよりも、むしろ読解力しか問わない問題です。センター試験に比べて情報処理能力が求められる問題の比率が増加しました。リーディングで英文の量が 1000 語以上増加し、リスニングでも読み上げ音声は 400 語程度増加しました。

【数学】数学 I A の第 2 問 [1] は陸上競技を題材に、実社会の事象を数学を用いて考察していく問題が出題されました。内容は難しくありませんが、条件や設定の説明が長く、読解力が求められました。必要な情報を素早く正確に読み取る力が要求され、対策ができていないと時間がかかってしまいました。他の問題でも問題文から情報を読み取って考える必要があり、数学でも読解力が求められました。

【まとめ】読解が必要な問題は増えたが、他方で正確な知識がないと正解できない問題も減っていません。共通テストが知識を軽んじているわけではないことは強調したい。共通テストは読解力重視と、資料から読み解く出題形式が主流になることがはっきりしたが、さらに来年は今年よりも問題が難化すると予想（過去に共通一次やセンター試験では 1 年目より 2 年目の方が難化）。読解力は大学入試全体でますます求められる可能性が高くなりそうです（私立大学等の一般入試でも読解力が求められる流れになることが予想される！進学希望者は要チェックです！）。TV 等でも活躍している池上彰氏は読解力を「生きていくうえで常に必要となる力」と表現しています。「書くこと」、「聞いて伝えること」、「新聞を読むこと」、「読書」によって「読解力」を伸ばし、鍛えることが可能だと提言しています。

◆今月の進路目標 → 今月も半分を過ぎてしまいましたが、今月の進路目標です。

1, 2年生：考査にしっかりと取り組む。考査後はスタサポ活用ブックにしっかりと取り組む！

※スタサポ活用ブックは 1 年間の復習をするのにとっても良い教材です。特に大学進学希望者は応用問題に粘り強く取り組んでみましょう！スタサポ活用ブックは 2 月末頃配布予定です。

！ 杉原千敏「スギハラチウネ」は感動の作品です！ 次回のしりとりは「ね」！

杉原千敏（スギハラチウネ）…第2次世界大戦中にリトアニアの日本領事館に赴任していた人物。ナチス・ドイツの迫害

により、欧州各地から逃げてきた難民達の窮状に同情し、外務省からの訓令に反して大量のビザを発給し